

2024年度(2025年3月期) 第2四半期(中間期)

決算説明資料

2024年10月24日

株式会社 富士通ゼネラル

目次

はじめに

1. 2024年度第2四半期(中間期)の業績

連結損益	6
セグメント別売上高	7
空調機部門地域別売上高	8
セグメント情報、研究開発費、設備投資、減価償却費	9
営業利益増減要因[2024年度2Q累計]前年同期比	10
連結貸借対照表	11
主な業績・財務データ	12

2. 2024年度連結業績見通し

連結損益	14
セグメント別売上高	15
空調機部門地域別売上高	16
セグメント情報、研究開発費、設備投資、減価償却費	17
営業利益増減要因[2024年度通期]前年度比	18

3. 今後の方向性

富士通ゼネラルの目指す姿	20
富士通ゼネラルの目指す事業	21
今後の方向性のフレームワーク	22

<Appendix>	23
------------	----

はじめに:2024年度の位置づけ

◆ 組織体制を再編し、高収益化に向けた施策の実行とマインドセットの変革を目指す

- ・ビジネスラインを「空調機部門」と「テックソリューション部門」の2部門に集約
- ・改革を担うCTrO (Chief Transformation Officer) 職、TrO (Transformation Officer) 職の新設
CTrO: 増田
TrO: 川西(空調機事業)、長谷川(テックソリューション事業)、
(5名) 大河原(経営基盤)、有門(事業基盤)、中川(人材組織)
- ・各機能を統括するCxOが全社横断でのビジネス推進、支援を担う

◆ 事業課題を徹底的に洗い出し、成長促進を加速

- ・全社横断プロジェクトを立ち上げ、課題に対する施策を実行中
- ・製販一体による「空調機事業」を主体とした本業の成長促進を加速
- ・当社グループの事業基盤強化に向けて、電子デバイス事業における事業絞り込みや収益性低下に伴う損失等を戦略的費用等として今年度に一括処理

1. 2024年度第2四半期(中間期)の業績

連結損益

(注1)増減率添字は現地通貨ベース (単位:億円)

	2023年度 2Q累計実績	2024年度 2Q累計実績	前年同期比	
				増減率
売上高	1,522	1,716	194	8% 13%
売上総利益	345	398	53	15%
(売上総利益率)	(22.7%)	(23.2%)	(0.5%)	
営業利益	13	30	17	136%
(営業利益率)	(0.8%)	(1.8%)	(1.0%)	
経常利益	74	16	△58	△78%
(経常利益率)	(4.9%)	(1.0%)	(△3.9%)	
特別損益	2	△79	△81	-%
当期純利益※	44	△101	△145	-%
(当期純利益率※)	(2.9%)	(△5.9%)	(△8.8%)	

※親会社株主に帰属する当期純利益

素材価格および為替レート ()は2Q末レート

銅(USD/t)	8,200	8,628	428
アルミ(USD/t)	2,383	2,421	38
円/1USD	142/(150)	151/(143)	9/(△7)
円/1EUR	153/(158)	166/(159)	13/(1)
パーツ/1USD	34.8/(36.4)	35.1/(32.1)	0.3/(△4.3)
元/1USD	7.06/(7.18)	7.11/(7.01)	0.05/(△0.17)

2Q累計実績の概要

(注2)各利益の添字(%)は対売上高利益率

	2024年度 2Q累計実績	
		うち戦略的費用等
売上高	1,716	△19
営業利益	(1.8%) 30	△27
経常利益	16	△27
特別損益	△79	△79
当期純利益	(△5.9%) △101	△130

戦略的費用等について

■ 営業利益

北米冷媒転換対策として、製品ラインアップの切り替えに伴う戦略的な売価政策による損益影響

■ 特別損益(当2Q累計は特別損失)

特別損失は、電子デバイスの事業絞り込みや収益性低下などに伴う損失

■ 当期純利益

当期純利益に与える影響は、総額△130億円

セグメント別売上高

(単位:億円)

	2023年度 2Q累計実績	2024年度 2Q累計実績	前年同期比		
				増減率	現地通貨 ベース
空調機部門	1,373	1,570	197	14%	9%
情報通信システム	67	80	13	19%	19%
電子デバイス	68	51	△17	△25%	△25%
情報通信・ 電子デバイス部門	135	131	△4	△3%	△3%
その他	14	15	1	14%	14%
合計	1,522	1,716	194	13%	8%
国内	417	432	15	3%	3%
海外	1,105	1,284	179	16%	9%

空調機部門地域別売上高

(単位:億円)

	2023年度 2Q累計実績	2024年度 2Q累計実績	前年同期比		
				増減率	現地通貨 ベース
日本	275	291	16	6%	6%
米州	164	264	100	61%	50%
欧州	380	300	△80	△21%	△26%
中東・アフリカ	120	178	58	49%	46%
オセアニア	159	208	49	31%	21%
アジア	197	271	74	37%	29%
中華圏	78	58	△20	△25%	△30%
合計	1,373	1,570	197	14%	9%

(注)売上高は外部顧客に対する売上高

セグメント情報、研究開発費、設備投資、減価償却費

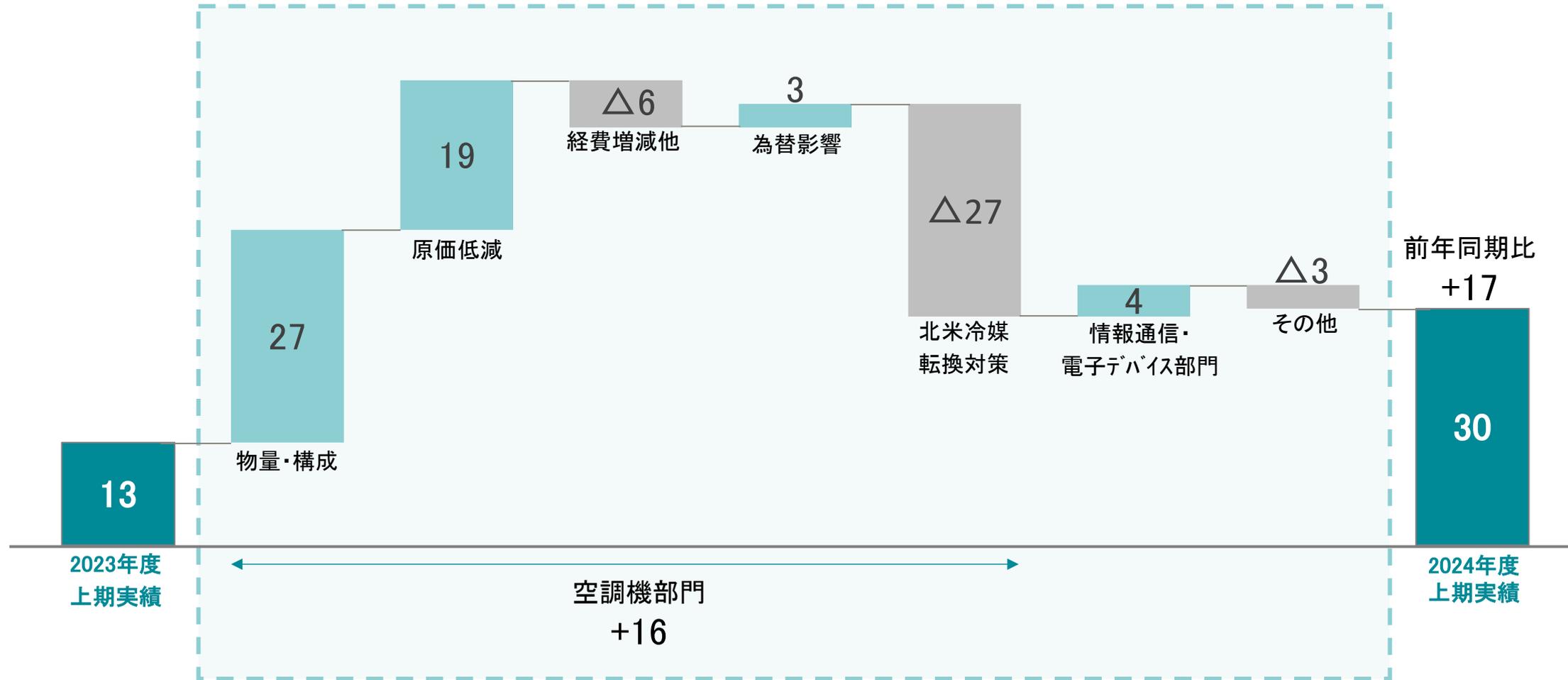
(単位:億円)

		2023年度 2Q累計実績	2024年度 2Q累計実績	前年同期比	
					増減率
空調機部門	売上高	1,373	1,570	197	14%
	営業利益	2	18	16	978%
	(営業利益率)	(0.1%)	(1.1%)	(1.0%)	
情報通信・ 電子デバイス部門	売上高	135	131	△4	△3%
	営業利益	6	10	4	85%
	(営業利益率)	(4.0%)	(7.6%)	(3.6%)	
その他	売上高	14	15	1	14%
	営業利益	5	2	△3	△58%
	(営業利益率)	(42.0%)	(15.6%)	(△26.4%)	
合計	売上高	1,522	1,716	194	13%
	営業利益	13	30	17	136%
	(営業利益率)	(0.8%)	(1.8%)	(1.0%)	
(注1)売上高は外部顧客に対する売上高					
	研究開発費	5.2% 78	4.5% 77	△0.7% △1	△2%
	設備投資	48	34	△14	△28%
	減価償却費	40	46	6	14%

(注2)研究開発費添字は売上高比率

営業利益増減要因[2024年度2Q累計]前年同期比

(単位: 億円)



連結貸借対照表

(単位:億円)

	2023年度末		2024年度2Q末		増減
	実績	構成比	実績	構成比	
流動資産	1,863	68%	1,562	65%	△301
(現金及び預金)	(197)		(230)		(33)
(受取手形及び売掛金)	(994)		(750)		(△244)
(棚卸資産)	(559)		(468)		(△91)
(その他)	(113)		(114)		(1)
固定資産	893	32%	856	35%	△37
資産合計	2,756	100%	2,418	100%	△338
流動負債	1,101	40%	885	37%	△216
(支払手形及び買掛金)	(464)		(432)		(△32)
(短期借入金)	(134)		(12)		(△122)
(その他)	(503)		(441)		(△62)
固定負債	189	7%	180	7%	△9
負債合計	1,290	47%	1,065	44%	△225
株主資本	1,226	44%	1,107	46%	△119
その他の包括利益累計額	161	6%	164	7%	3
非支配株主持分	79	3%	82	3%	3
純資産合計	1,466	53%	1,353	56%	△113
負債純資産合計	2,756	100%	2,418	100%	△338

主な業績・財務データ

(単位:億円)

	2023年度 2Q累計実績	2024年度 2Q累計実績	前年同期比	(ご参考) 2023年度
営業キャッシュ・フロー	208	232	24	426
投資キャッシュ・フロー	△98	△47	51	△164
フリー・キャッシュ・フロー	110	185	75	262
自己資本比率	50.0%	52.6%	2.6%	50.3%
棚卸資産残高	741	468	△273	559
棚卸資産回転日数	84.1日	67.5日	△16.6日	82.9日
CCC※	127.9日	110.0日	△17.9日	136.9日
ネットD/Eレシオ	0.05倍	△0.17倍	△0.22倍	△0.04倍

※CCC(キャッシュ・コンバージョン・サイクル):売上債権回転日数+棚卸資産回転日数-買掛債務回転日数

2. 2024年度連結業績見通し

連結損益

(注1) 増減率添字は現地通貨ベース (単位: 億円)

	2023年度 実績	2024年度 計画	前年度比		7月公表比
				増減率	
売上高	3,165	3,600	435	11% 14%	200
営業利益	57	100	43	74%	△20
(営業利益率)	(1.8%)	(2.8%)	(1.0%)		(△0.7%)
経常利益	144	80	△64	△44%	△30
(経常利益率)	(4.5%)	(2.2%)	(△2.3%)		(△1.0%)
特別損益	△60	△79	△19	-%	△79
当期純利益※	31	△70	△101	-%	△130
(当期純利益率※)	(1.0%)	(△1.9%)	(△2.9%)		(△3.7%)

※親会社株主に帰属する当期純利益

素材価格および為替レート ()は期末レート

銅(USD/t)	8,034	9,284	1,250	284
アルミ(USD/t)	2,370	2,536	166	△164
円/1USD	145/(151)	148/(145)	3/(△6)	8/(5)
円/1EUR	156/(163)	163/(160)	7/(△3)	13/(10)
パーツ/1USD	35.1/(36.3)	34.7/(34.3)	△0.4/(△2.0)	△0.1/(△0.5)
元/1USD	7.09/(7.10)	7.06/(7.00)	△0.03/(△0.10)	△0.04/(△0.10)

■ 年間業績予想の概要

(注2) 各利益の添字(%)は対売上高利益率

	2024年度 計画	うち戦略的費用等
売上高	3,600	△28
営業利益	(2.8%) 100	△47
経常利益	80	△47
特別損益	△79	△79
当期純利益	(△1.9%) △70	△150

■ 戦略的費用等について

営業利益に北米冷媒転換の追加対策を織込み、特別損失等を含め、当期純利益に与える影響は、総額△150億円

セグメント別売上高

(単位:億円)

	2023年度 実績	2024年度 計画	前年度比			7月公表比 通期
			増減率	現地通貨 ベース		
空調機部門	2,806	3,220	414	15%	12%	220
情報通信システム	209	255	46	22%	22%	5
電子デバイス	123	95	△28	△22%	△22%	△25
テックソリューション部門	332	350	18	5%	5%	△20
その他	27	30	3	10%	10%	-
合計	3,165	3,600	435	14%	11%	200
国内	837	870	33	4%	4%	△10
海外	2,328	2,730	402	17%	14%	210

(注)セグメントの変更に伴い、「テックソリューション部門」と記載しておりますが、
現在影響額を算定中のため表記のみの変更とし、決算数値については、従前の「情報通信・電子デバイス部門」の決算数値としております。

空調機部門地域別売上高

(単位: 億円)

		2023年度 実績	2024年度 計画	前年度比			7月公表比 通期
					増減率	現地通貨 ベース	
ジャパン	日本	491	500	9	2%	2%	-
Americas	米州	402	550	148	37%	35%	80
EMEA	欧州	698	680	△18	△3%	△5%	△30
	中東・アフリカ	236	340	104	44%	44%	80
APAC	オセアニア	366	450	84	23%	17%	50
	アジア	468	560	92	20%	16%	20
	中華圏	145	140	△5	△3%	△8%	20
	合計	2,806	3,220	414	15%	12%	220

(注1)売上高は外部顧客に対する売上高

(注2)地域を統括する区分として、「ジャパン」「Americas」「EMEA」「APAC」を新設しております。

セグメント情報、研究開発費、設備投資、減価償却費

(単位: 億円)

	2023年度 実績	2024年度 計画	前年度比		7月公表比 通期	
				増減率		
空調機部門	売上高	2,806	3,220	414	15%	220
	営業利益	7	60	53	721%	△25
	(営業利益率)	(0.3%)	(1.9%)	(1.6%)		(△0.9%)
テックソリューション部門	売上高	332	350	18	5%	△20
	営業利益	44	55	11	24%	5
	(営業利益率)	(13.4%)	(15.7%)	(2.3%)		(2.2%)
その他	売上高	27	30	3	10%	-
	営業利益	6	△15	△21	-%	-
	(営業利益率)	(21.3%)	(△50.0%)	(△71.3%)		(-%)
合計	売上高	3,165	3,600	435	14%	200
	営業利益	57	100	43	74%	△20
	(営業利益率)	(1.8%)	(2.8%)	(1.0%)		(△0.7%)

(注1)セグメントの変更に伴い、「テックソリューション部門」と記載しておりますが、
現在影響額を算定中のため表記のみの変更とし、決算数値については、従前の「情報通信・電子デバイス部門」の決算数値としております。

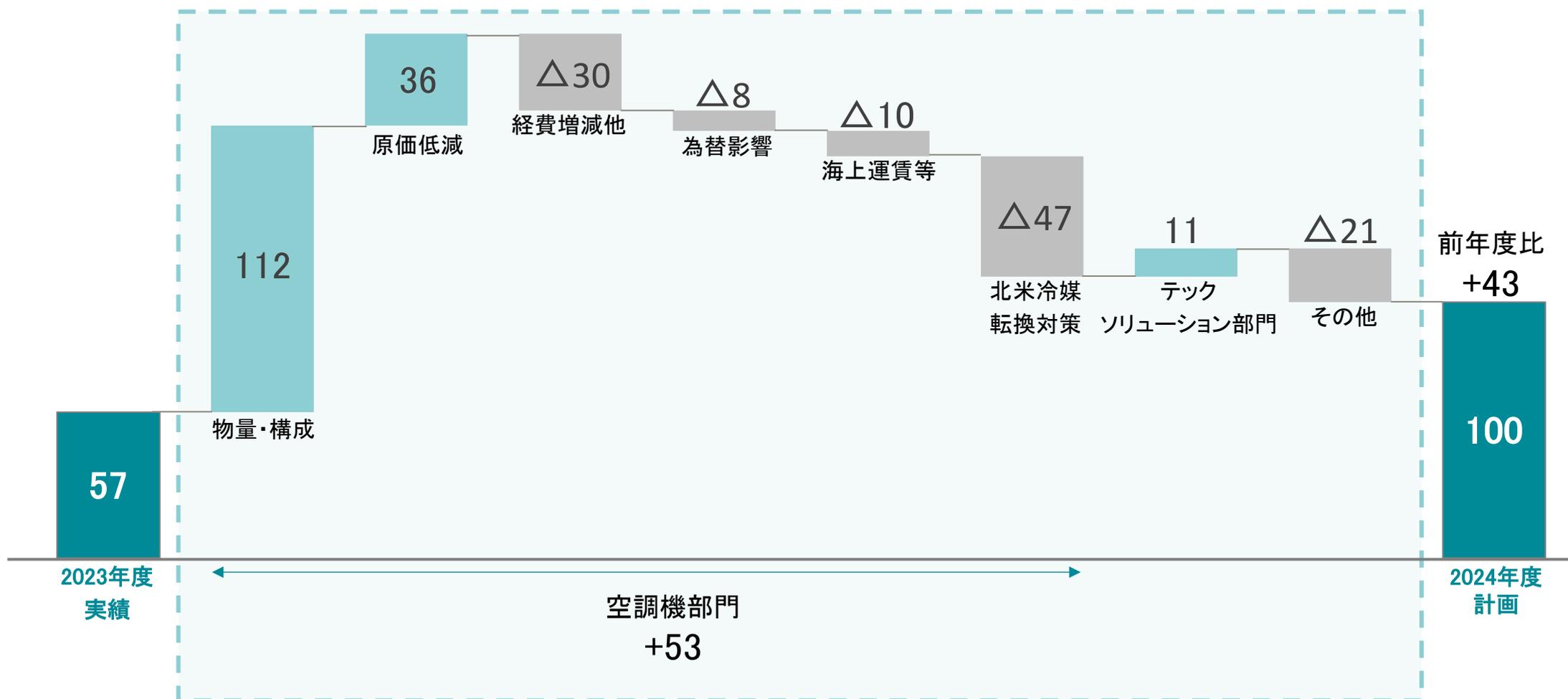
(注2)売上高は外部顧客に対する売上高

研究開発費	4.8%	153	4.7%	170	△0.1%	17	11%	△0.2%	5
設備投資		118		100	△18		△15%		△20
減価償却費		85		90	5		6%		-

(注3)研究開発費添字は売上高比率

営業利益増減要因[2024年度通期] 前年度比

(単位: 億円)



(注)セグメントの変更に伴い、「テックソリューション部門」と記載しておりますが、現在影響額を算定中のため表記のみの変更とし、決算数値については、従前の「情報通信・電子デバイス部門」の決算数値としております。

3. 今後の方向性

富士通ゼネラルの目指す姿



Creating a Life Conditioner

私たちが支え、守り続けて行くのは
大切な人や家族の快適。

そして、今や災害とも言える猛暑や寒波からの健康と
街や地域を支えるサステナブルでウェルビーイングな暮らしです。

未来の子供たちの笑顔や地球環境という
“ **全てのLIFE** ” を守り続けたい。

私たちは **Air** Conditioner を作ることから
Life Conditioner を創造していきます。

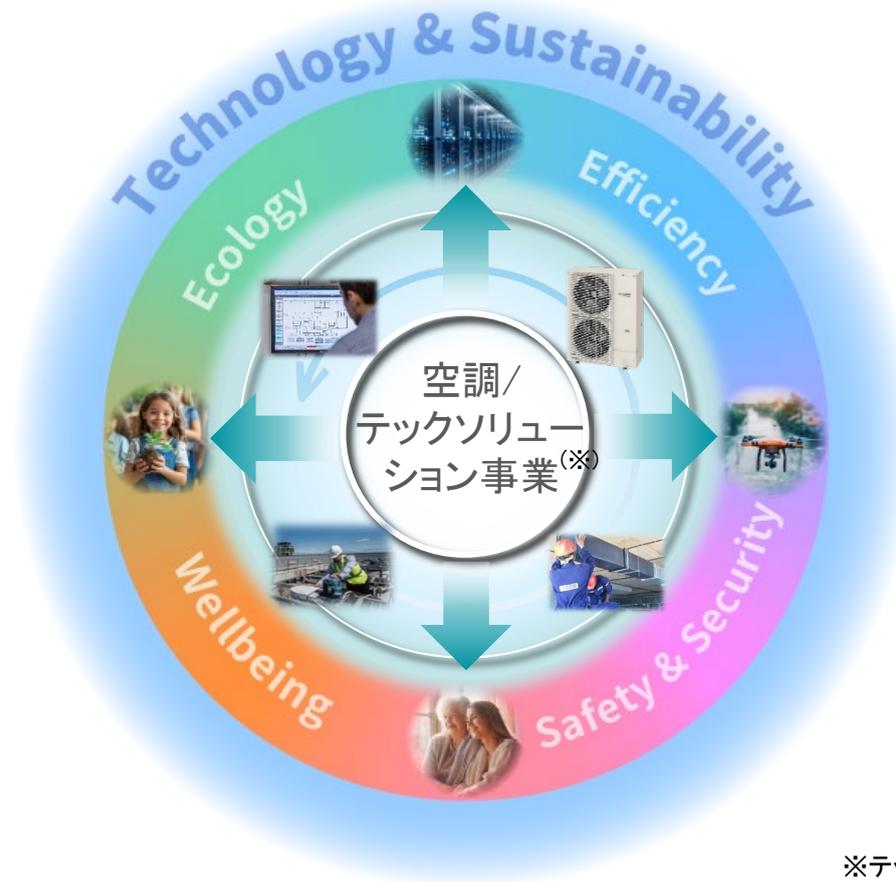
富士通ゼネラルの目指す事業

空調エコロジー

- ・製品CO2排出量削減
- ・省エネ監視/コンサル
- ・資源循環事業

ウェルビーイングソリューション

- ・健康につながる快適性追求
- ・空気質モニタリングシステム



空調サービスソリューション

- ・エネルギー管理プラットフォーム
- ・空調ライフサイクルサポート

防災ソリューション

- ・消防向けドローン活用
- ・消防/防災システムDX
- ・感染症予防

※テックソリューション事業: 情報通信システム、電子デバイス他

富士通ゼネラル
の強み



モノづくり
世界初・業界初を創出

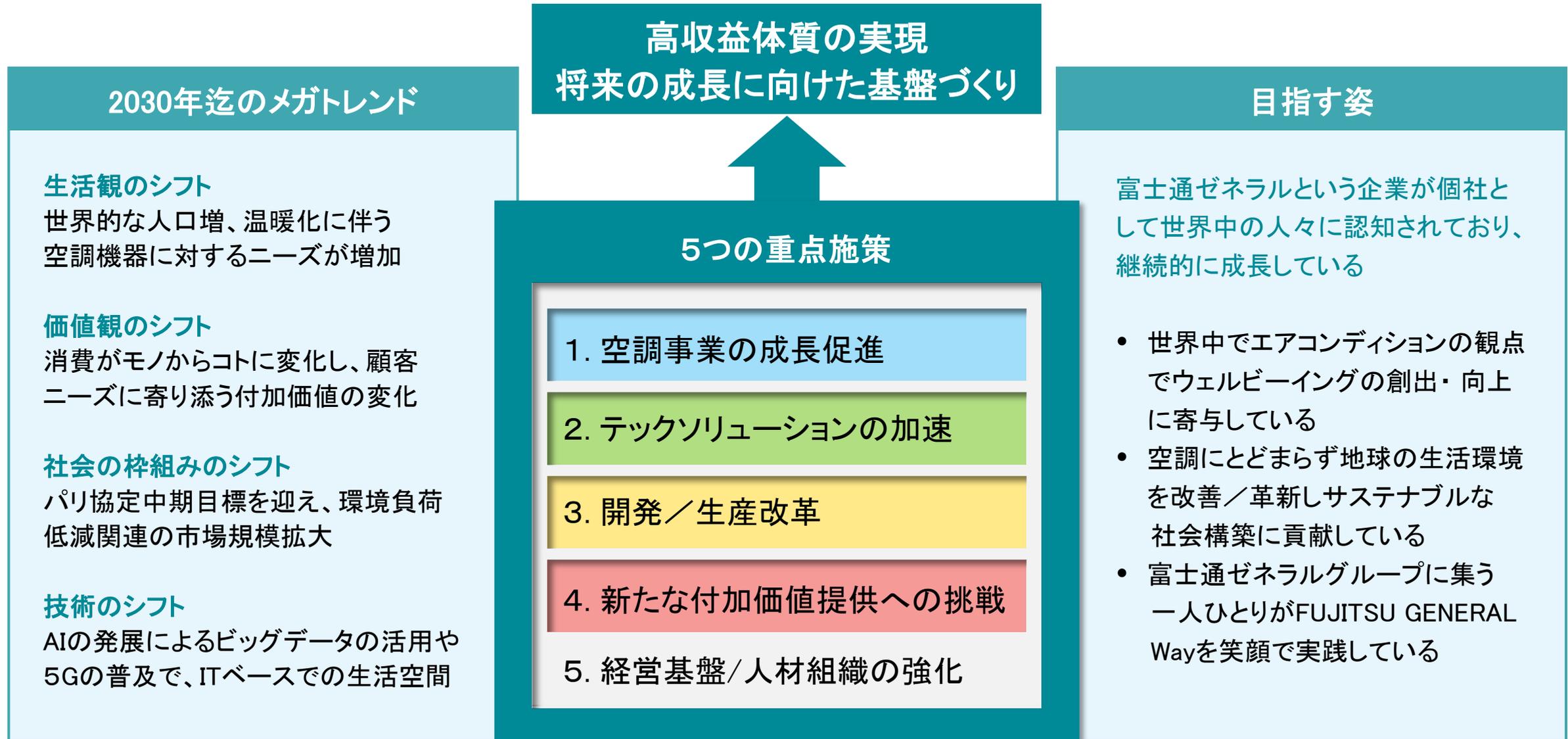


テクノロジー
ヒートポンプ/インバータ
通信技術



グローバルチャネル
世界100カ国以上への展開

今後の方向性のフレームワーク



Appendix

連結損益(四半期推移)

(単位:億円)

	2023年度(実績)					2024年度(1Q-2Q実績)	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
売上高	680	842	623	1,020	3,165	797	919
営業利益	△7	20	△18	62	57	7	23
(営業利益率)	(△1.0%)	(2.3%)	(△2.9%)	(6.1%)	(1.8%)	(0.9%)	(2.5%)
経常利益	58	16	△26	96	144	26	△10
(経常利益率)	(8.5%)	(1.9%)	(△4.2%)	(9.4%)	(4.5%)	(3.3%)	(△1.1%)
当期純利益※	36	8	△22	9	31	10	△111
(当期純利益率※)	(5.3%)	(0.9%)	(△3.5%)	(0.8%)	(1.0%)	(1.2%)	(△12.1%)

※親会社株主に帰属する当期純利益

素材価格および為替レート(平均レート)

銅(USD/t)	8,369	7,982	7,846	7,860	8,034	8,358	8,909
アルミ(USD/t)	2,407	2,354	2,356	2,356	2,370	2,444	2,396
円/1USD	138	146	146	149	145	156	148
円/1EUR	150	157	159	162	156	168	164
パーツ/1USD	34.3	35.2	35.0	35.7	35.1	36.6	34.3
元/1USD	6.97	7.18	7.15	7.10	7.09	7.10	7.12

セグメント別売上高(四半期推移)

(単位:億円)

	2023年度(実績)					2024年度(1Q-2Q実績)	
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q
日本	130	145	86	130	491	141	150
米州	71	93	80	158	402	123	141
欧州	171	209	111	207	698	146	154
中東・アフリカ	39	81	46	70	236	34	144
オセアニア	70	89	95	112	366	96	112
アジア	102	95	103	168	468	164	107
中華圏	37	41	28	39	145	36	22
空調機部門	620	753	549	884	2,806	740	830
情報通信システム	25	42	43	99	209	30	50
電子デバイス	29	39	25	30	123	20	31
情報通信・電子デバイス部門	54	81	68	129	332	50	81
その他	6	8	6	7	27	7	8
合計	680	842	623	1,020	3,165	797	919

(注)売上高は外部顧客に対する売上高

免責事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



FUJITSU

富士通ゼネラル

－ 共に未来を生きる －